

## 丸の内だより

『日本は今如何なる土木を必要と致すべきや』に就て

兵庫縣土木部長  
山口 十一郎

1. 交通機關ノ整備
  - イ、日本海方面ニ日滿鮮ヲ連絡スル海上交通ノ據點トシテノ港灣ノ築造
  - ロ、裏日本ノ大陸連絡ノ據點タル港灣ト表日本ノ樞要地ヲ結ブ大動脈タル道路ノ開鑿
1. 工場地帯ノ造成
  - 工場地帯ノ造成ト之ニ對處スル地方計畫ノ樹立
1. 國土保全施設ノ完備
  - イ、重要生産都市ヲ防護スルタメノ河川改修ヲ特ニ促進スルコト
  - ロ、前項ニ關聯スル砂防工事ノ施行 (以上)

『日本は今如何なる土木を必要と致すべきや』に就て各家の寄せられたる回答は、工事畫報1月號に掲載して、各方面に多大の参考示唆を與へつゝあるが同記事締切後、上記の有意義なる一書を寄せられたので、本欄に掲載する事とした。

**關信雄博士急逝** 東京帝大工學部土木科教授工學博士關信雄氏は1月8日王子區上十條の自宅に於て腦溢血のため急逝された、享年49歳である、告別式は12日午後1時より青山齋場に於て佛式により執行され、帝大其他の各學校關係者を初め官民多數の參

列者があつた。關博士は帝大教授の餘暇を割いて民間の土木教育にも盡力する處多く、平素の健康そのものゝ様な體格から見ても、尙將來に期待せらるゝ處が多かつたのに、突然の急逝は各方面から非常に惜まれてゐる。

本號掲載の齋藤氏の日電黒部川の發電工事は天下の絶勝たる黒部峡谷への科學的工事陣營の進軍譜であります。萬難を排して進める日本最初の神祕工事であります。

自然美の山容を其儘に生じて、千仞の絶壁を仰ぎつゝ工事する朝夕の人の動きは單に物質的にのみ見られぬ敬虔な工事の姿であります。

地下300米の停車場と云ひ、高昇程のエレベーターの設備と云ひ、ミキシングプラントと云ひ、或は隧道の高熱と云ひ、其排氣冷却設備と云ひ、或は雪害防護の設備と云ひ、水力發電工事としては劃期的のものであるが、然も自然は恐るべし、新春早々の1月上旬阿曾原に於て旋風と雪崩の爲に突發した慘害は如何に黒部が魔の神祕境であるかを思はしめる。我々は本號の工事寫眞に對して謹んで今回の犠牲者の靈を慰め度いと思ふ。(編者)

### 懸賞募集

延長64軒の海底隧道掘鑿法

詳細本誌一月號參照

<b>土木工事畫報</b> 第十六卷 第二號 定價金七拾錢 (稅二錢)		每月一回一日發行 二ヶ年十二冊發行
普通購讀料 壹部七十錢 稅二錢 參ヶ月貳圓 稅共 六ヶ月四圓 同 一ヶ年八圓 同 外國一部 八十六錢 稅 共	昭和十五年一月廿六日印刷納本 昭和十五年二月一日發行 編輯兼印刷發行人 岡崎保吉 東京市豊島區千早町三丁目四二番地 印刷所 共同印刷株式會社 東京市小石川區久堅町百八番地	關西支局 大阪府住吉區帝塚山東四ノ二八 工事畫報社支局 電話住吉3590(呼)
注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて、東京七〇貳六五番宛拂込の事但し、六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便を差出します。	發行所 工事畫報社 東京市麴町區丸ノ内三丁目六 電話 丸ノ内二六三三番 振替 東京七〇貳六五番	大賣捌所 東京堂・東海堂 大東館・北隆館